

名古屋大学未来材料・システム研究所教員公募要領

1	募 集 件 名	教授の公募	
2	募集者の名称	国立大学法人東海国立大学機構	
3	所 属	名古屋大学未来材料・システム研究所 附属高度計測技術実践センター 電子顕微鏡計測部	
4	募 集 内 容	[職務内容] 名古屋大学未来材料・システム研究所は、文部科学省による「環境調和型で持続発展可能な省エネルギー・創エネルギーのための材料とシステム研究拠点」として認定され、国内外の大学や研究機関の研究者の共同利用・共同研究を通じ、省エネルギー・創エネルギー技術に関する研究を幅広く推進しています。高度計測技術実践センターでは、附属超高压電子顕微鏡施設および先端技術共同研究施設を核に計測技術の開拓、高度化ならびにそれらの技術を駆使した材料科学の研究を推進するとともに、21世紀のものづくりを主導する人材の育成に注力しています。 当研究所では、高度計測技術実践センターにおける研究活動をさらに発展させることのできる人材を求めて、教授1名の募集を行います。 募集する研究領域 持続発展可能な資源循環型社会を実現するために、環境と調和する様々な省エネルギー・創エネルギー材料などの開発が求められています。 当センターでは、物質科学に立脚した電子顕微鏡の新たな計測・分析技術を開拓できる人材を募集します。また、国内外の研究機関との連携により当該研究領域を推進するとともに、計測・分析技術の人材育成に積極的に関わることのできる特に優れた人材を希望します。 なお、名古屋大学は業績(研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。)の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 (雇入れ直後) ・電子顕微鏡および物質科学に関する教育研究 ・研究所およびセンターにおける運営業務 ・大学院及び学部における教育 (変更の範囲) ・東海国立大学機構が指定する業務 [勤務地] (雇入れ直後) 愛知県名古屋市千種区 (変更の範囲) 東海国立大学機構が指定する就業場所 [募集人員] 教授・1名 [着任時期] 2027年4月1日	
5	募 集 研 究 分 野	大分類	材料工学およびその関連分野
		小分類	半導体、ナノ材料科学、無機材料
6	勤 務 形 態	常勤 契約期間：期間の定めなし（研究プロジェクト期間は5～10年）	

		試用期間：あり（採用日から6か月）
7	応募資格	[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細] ① 博士の学位を有すること。 ② 上記募集領域の研究に対して十分な実績、熱意、意欲を持っていること。独自の計測技術によって新たな学術領域を確立し牽引いただけること。 ③ 自身の専門分野を中心にしながら所内外プロジェクトでの共同研究が可能なこと。 ④ 未来材料・システム研究所附属高度計測技術実践センターおよび超高压電子顕微鏡施設の運営に積極的に関わって頂けること。 ⑤ 本学工学部物理工学科の運営に協力し、物質科学に関連した講義、演習、学生実験を担当できること。 ⑥ 本学工学研究科物質科学専攻博士課程（前期および後期課程）の研究指導ができること。
8	待遇	[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等）] ・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110010928.html ・給与は東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程において定める年俸制とする。 https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110001585.html ・専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分働いたものとみなされる。 ・休日：土・日曜日、国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日） ・加入保険：文部科学省共済組合、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険 ・受動喫煙防止措置：原則としてキャンパス内は喫煙禁止
9	応募期間	2026年7月14日～2026年8月31日 17:00 必着
10	応募・選考結果通知連絡先	[応募方法（提出書類の送付先）] 以下の書類を、応募期間内（必着）にメールにより提出。 1. 履歴書（書式自由、写真貼付、電子メールアドレスを含む連絡先記載） 2. 研究業績リスト（①査読付き原著論文（論文引用数を表記：Scopus基準）、②国際会議、③著書、④総説・解説など、⑤特許、⑥受賞、⑦招待講演、⑧外部資金獲得実績（代表のみ記載、研究費がついていない国内外の共同研究を含む）、⑨学会活動を含む社会貢献に分けて記載）[共著者名はすべて掲載順に記入し、自身の箇所に下線を付すこと。] 3. 主な論文5編以内（上記2. 研究業績リストに※印を付すこと。） 4. これまでの教育・研究の概要（任意形式でA4用紙3ページ以内） 5. 着任後の研究プロジェクト課題名とその研究計画（任意形式でA4用紙3ページ以内、研究プロジェクト期間は5～10年） 6. 着任後の教育研究に関する抱負（任意形式でA4用紙3ページ程度） 7. 所見を求めうる方（2名）の氏名、所属、連絡先 書類送付先 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学未来材料・システム研究所

		所長 内山 知実 宛 <u>uchiyama*@*is.nagoya-u.ac.jp</u> <u>director*@*imass.nagoya-u.ac.jp</u> (メールを送る際は@前後の*を削除して下さい。) _ ※メールは上記2つのアドレスに送付すること。全文書をまとめたPDFファイルを電子メールに添付すること。ファイルサイズが大きい場合は大容量ファイル転送サービス等を利用すること。 問合先 名古屋大学未来材料・システム研究所 高度計測技術実践センター センター長 桑原真人 電子メール <u>kuwahara*@*imass.nagoya-u.ac.jp</u> (メールを送る際は@前後の*を削除してください。) 電話 052-789-3705 ウェブサイト https://www.imass.nagoya-u.ac.jp/ [選考内容(選考方法、採否の決定)] ・書類選考の上、面接を実施します。 ・面接実施者については、電話等で連絡を行います。
11	そ の 他	・名古屋大学は業績(研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。)の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 ・提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。 ・応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却しません。 ・面接に要する交通費は支給しません。 ・2021年11月「外国為替及び外国貿易法」(外為法)に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際には「類型該当性判断のフローチャート」を確認したうえで、様式1「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。以下から自己申告書様式をダウンロード・記入し、他の応募書類とともにご提出ください。 https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/Swfp7NdH7PGitf4 なお、採用となった場合は別途「誓約書」の提出が必要となります。 ・本学では、多様性の推進やワークライフバランスの促進に、積極的に取り組んでいます。詳細については以下のURLをご覧ください。 ジェンダー・ダイバーシティセンター Web サイト： https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン&ビロニング(Diversity, Equity, Inclusion & Belonging: DEIB) 推進宣言： https://www.thers.ac.jp/about/declaration/deib/index.html ・出産・育児・介護・病気等の理由により、過去に研究活動を中断・遅延した期間があれば、その点を履歴書に記載することができます。本学ではそれを記載したことにより、不当な評価を受けることはありません。